

4章 外壁改修工事

4.6.5  
工

法

(13) 可とう形改修塗材REは、次による。

分 類	S K K 該 当 製 品
可とう形改修塗材RE	水性ソフトサーフェポ

(ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。ただし、溶剤系の上塗材の場合は、指定量の専用薄め液で均一になるように行う。

また、2液形上塗材は、薄める前に基剤と硬化剤を仕上塗材の製造所の指定の割合で混ぜ合わせる。

なお、練混ぜ量は、仕上塗材の製造所の指定する可使時間内に使い終わる量とする。

(イ) 主材塗りは、次による。

(a) 吹付けの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、仕上塗材の製造所の指定する吹付け条件により吹き付ける。

(b) ローラー塗りの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のローラーを用いて塗り付ける。

(ウ) 上塗りは、2回塗りとし、色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に、はけ、ローラー又はスプレーガンにより塗り付ける。

可とう形改修塗材RE (平たん)

水性ソフトサーフェポ

種 類	呼 び 名	仕上 の形状	工 法	工 程	S K K 該 当 製 品	所 要 量 (kg/㎡)	塗 り 回 数
可とう形 改修用 仕上塗材	可とう形 改修塗材RE	平たん	ローラー塗り (ケール、 マスチック細目)	主材	水性ソフトサーフェポ★	0.3~1.0	1~2
				上塗材	代表例： 水性弾性セラミシリコン★(注)1	0.25~0.35	2

(注) 1. 上塗材については、次頁〔SKK推奨各種上塗り材〕を参考に、適切な製品を選択してください。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

3. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

可とう形改修塗材RE (さざ波)

水性ソフトサーフェポ

種 類	呼 び 名	仕上 の形状	工 法	工 程	S K K 該 当 製 品	所 要 量 (kg/㎡)	塗 り 回 数
可とう形 改修用 仕上塗材	可とう形 改修塗材RE	さざ波	ローラー塗り (マスチック)	主材	水性ソフトサーフェポ★	0.8~1.5	1~2
				上塗材	代表例： 水性弾性セラミシリコン★(注)1	0.25~0.35	2

(注) 1. 上塗材については、次頁〔SKK推奨各種上塗り材〕を参考に、適切な製品を選択してください。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

3. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

4章 外壁改修工事

可とう形改修塗材RE (ゆず肌状)

水性ソフトサーフェオ

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗り回数
可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材RE	ゆず肌状	吹付け	主材	水性ソフトサーフェオ★	0.8~1.0	1
				上塗材	代表例: 水性弾性セラミシリコン★(注)1	0.25~0.35	2

- (注)1. 上塗材については、下記〔SKK推奨各種上塗り材〕を参考に、適切な製品を選択してください。  
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。  
 3. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

〔SKK推奨各種上塗り材〕

		樹脂	製品名
硬質	水系	アクリル系	ブリーズコート★
		ウレタン系	水性コンポウレタン★
		アクリルシリコン系	水性コンポシリコン★
			水性セラミシリコン★
			水性セラタイトSi★
			エスケーププレミアムシリコン★
	ふっ素系	水性セラタイトF★(注)1	
		スーパーセラタイトF★(注)1	
	弱溶剤系	ウレタン系	クリーンマイルドウレタン★
		アクリルシリコン系	クリーンマイルドシリコン★
		ふっ素系	クリーンマイルドフツソ★
	溶剤系	ウレタン系	(セラタイトU★)(注)1
		アクリルシリコン系	(セラタイトSi★)(注)1
		ふっ素系	(セラタイトF★)(注)1
	弾性	水系	アクリル系
ウレタン系			水性弾性コンポウレタン★
アクリルシリコン系			水性弾性コンポシリコン★
			水性弾性セラミシリコン★
			水性弾性セラタイトSi★
			エスケープ弾性プレミアムシリコン★
ふっ素系		水性弾性セラタイトF★(注)1	
弱溶剤系		ウレタン系	弾性クリーンマイルドウレタン★
		アクリルシリコン系	弾性クリーンマイルドシリコン★
		ふっ素系	弾性クリーンマイルドフツソ★
溶剤系		ウレタン系	(弾性セラタイトU★)
		アクリルシリコン系	(弾性リリカタイトエナメル★)
		ふっ素系	(弾性セラタイトF★)

※( )の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。

(注)1. 専用の中塗材が必要です。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆取得製品。

4章 外壁改修工事

分 類	S K K 該 当 製 品
可とう形改修塗材RE	水性弾性サーフェポ

(ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。ただし、溶剤系の上塗材の場合は、指定量の専用薄め液で均一になるように行う。

また、2液形上塗材は、薄める前に基剤と硬化剤を仕上塗材の製造所の指定の割合で混ぜ合わせる。

なお、練混ぜ量は、仕上塗材の製造所の指定する可使時間内に使い終わる量とする。

(イ) 主材塗りは、次による。

(a) 吹付けの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、仕上塗材の製造所の指定する吹付け条件により吹き付ける。

(b) ローラー塗りの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のローラーを用いて塗り付ける。

(ウ) 上塗りは、2回塗りとし、色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に、はけ、ローラー又はスプレーガンにより塗り付ける。

可とう形改修塗材RE (平たん)

水性弾性サーフェポ

種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	工 程	S K K 該 当 製 品	所 要 量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗 り 回 数
可とう形改修用 仕上塗材	可とう形改修塗材RE	平たん	ローラー塗り (ケール、 マッシュ網目)	主材	水性弾性サーフェポ★	0.3~1.0	1~2
				上塗材	代表例： 水性弾性セラミシリコン★(注)1	0.25~0.35	2

- (注) 1. 上塗材については、次頁〔S K K推奨各種弾性上塗り材〕を参考に、適切な製品を選択してください。  
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。  
 3. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

可とう形改修塗材RE (さざ波)

水性弾性サーフェポ

種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	工 法	工 程	S K K 該 当 製 品	所 要 量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗 り 回 数
可とう形改修用 仕上塗材	可とう形改修塗材RE	さざ波	ローラー塗り	主材	水性弾性サーフェポ★	0.8~1.5	1~2
				上塗材	代表例： 水性弾性セラミシリコン★(注)1	0.25~0.35	2

- (注) 1. 上塗材については、次頁〔S K K推奨各種弾性上塗り材〕を参考に、適切な製品を選択してください。  
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。  
 3. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

4章 外壁改修工事

可とう形改修塗材RE (ゆず肌状)

水性弾性サーフェオ

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗り回数
可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材RE	ゆず肌状	吹付け	主材	水性弾性サーフェオ★	0.8~1.0	1
				上塗材	代表例: 水性弾性セラミシリコン★(注)1	0.25~0.35	2

- (注) 1. 上塗材については、下記〔SKK推奨各種弾性上塗り材〕を参考に、適切な製品を選択してください。  
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。  
 3. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

〔SKK推奨各種弾性上塗り材〕

	樹脂	製品名	
水系	アクリル系	SK水性ELコート★	
	ウレタン系	水性弾性コンポウレタン★	
	アクリルシリコン系		水性弾性コンボシリコン★
			水性弾性セラミシリコン★
			水性弾性セラタイトSi★
			エスケーププレミアムシリコン★
	ふっ素系		エスケープ弾性プレミアムシリコン★
		水性弾性セラタイトF★(注)2	
弱溶剤系	ウレタン系	弾性クリーンマイルドウレタン★	
	アクリルシリコン系	弾性クリーンマイルドシリコン★	
	ふっ素系	弾性クリーンマイルドフッソ★	

- (注) 1. 水性弾性サーフェオの上塗材には、強溶剤系上塗材は使用できません。  
 2. 専用の中塗材が必要です。  
 3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆取得製品。